

政策決定会議の結果について

(日時) 令和8年7月23日(木) 持ち回りによる回議

(場所)

(構成員)

藤代市長、染谷副市長、野崎副市長、渡邊教育長

総務部長、企画財政部長、市民部長、環境経済部長、福祉部長、健康子ども部長、都市建設部長、教育部長、生涯学習部長、上下水道部長、総務課長、財政課長、企画政策課長

【令和8－11】 いんざいふるさと産業まつりの見直し及び令和8年度の実施方針について 【農政課】

いんざいふるさと産業まつりは、これまで本市の農業や地域の魅力を発信し、市民交流を促進する場として開催してきたが、近年は農業を取り巻く環境が変化し、市内の農業経営体数も減少している。また、類似イベントの開催状況も踏まえると、従来の大規模集客型の手法を見直し、農業振興と地域交流という本来の目的に即した形へ再構築する必要がある。

このため、令和8年度からは、ファーマーズマーケットを核とした地域交流イベントへ転換し、地域農産物の販売促進、生産者と市民の交流、地産地消の推進を図ることとしたい。令和8年度は、既存イベントを活用して試行的に実施し、その結果を踏まえて今後のあり方を整理する。

(審議の経過)

(意見)

【令和8－11】について、決定

政策決定会議付議書

整理番号	令和 8 - 1 1	付議年月日	令和 8 年 7 月 2 3 日
所管部課名	環境経済部農政課		
件 名	いんざいふるさと産業まつりの見直し及び令和 8 年度の実施方針について		
理由及び概要	いんざいふるさと産業まつりは、これまで本市の農業や地域の魅力を発信し、市民交流を促進する場として開催してきたが、近年は農業を取り巻く環境が変化し、市内の農業経営体数も減少している。また、類似イベントの開催状況も踏まえると、従来の大規模集客型の手法を見直し、農業振興と地域交流という本来の目的に即した形へ再構築する必要がある。 このため、令和 8 年度からは、ファーマーズマーケットを核とした地域交流イベントへ転換し、地域農産物の販売促進、生産者と市民の交流、地産地消の推進を図ることとしたい。令和 8 年度は、既存イベントを活用して試行的に実施し、その結果を踏まえて今後のあり方を整理する。		
これまでの経緯	本事業は昭和 5 4 年の農業まつりに始まり、市民まつりとの統合を経て継続してきた。一方で、市内の農業経営体数は令和 2 年の 1, 094 経営体から令和 7 年には 807 経営体へ減少しており、地域農業を将来にわたって維持していくうえで大きな課題となっている。 また、類似イベントの開催状況や「INZAI まちフェス」の予定も踏まえ、事業のあり方について検討した結果、農業振興と地域交流に重点を置いた形へ見直す方向で整理した。		
関係法規	いんざいふるさと産業まつり補助金交付要綱		
対応方針	令和 8 年度は、既存イベントを活用したファーマーズマーケットを試行的に実施し、1 1 月の「イルミライ★INZAI」点灯式当日に開催する方向で進める。必要な経費については、事業内容を精査の上、9 月補正予算で対応する。実施後は、事業効果や課題を検証し、令和 9 年度以降の実施方法、開催場所及び連携のあり方を整理する。		

注 ※の欄は記入しない。

地域の魅力を未来につなぐ いんざいふるさと産業まつりの新たな発展について

—大規模イベントからファーマーズマーケットを核とした地域交流イベントへの転換—

いんざいふるさと産業まつり（以下、「産業まつり」という）は、令和８年度から、従来の大規模集客型の実施手法を見直し、農業振興と地域交流を重視した形へ転換する。今後は、ファーマーズマーケットを核として、地域農産物の販売促進、生産者と市民の交流、地域の魅力発信につながる取組を進める。

※ ファーマーズマーケット 地域の生産者が農産物や加工品等を販売し、来場者と交流する農と食の交流市場

1 見直しの背景

産業まつりは、昭和５４年の「農業まつり」に始まり、市民まつりとの統合を経て実施してきた。一方で、市内の農業を取り巻く環境は大きく変化しており、令和７年農林業センサスでは、市内の農業経営体数は８０７経営体となり、令和２年の１,０９４経営体から２６％減少している。

こうした中、地域農業を将来にわたり維持、発展させるためには、市民や地域事業者も含め、地域全体で農業を支える視点がこれまで以上に重要であり、生産者と市民が交流し、地域農業への理解を深める機会を確保することが必要となっている。

2 見直しの方向性

産業まつりは、農業振興と地域交流という本来の目的をより明確にし、農業者、市民、地域事業者がつながり、地域農業の価値を共有できる場として再構築する。

具体的には、農産物の販売機会の創出、生産者と市民の交流促進、市民が地域農業への理解を深める機会の充実に重点を置くこととする。

3 令和８年度の進め方

既存イベントを活用したファーマーズマーケットを実施することで、市民の地域農業への理解促進と生産者の販売機会の拡大につなげる。

９月に補正予算案を提出し、１０月に出店調整や会場準備等を進め、１１月の「イルミライ★ＩＮＺＡＩ」点灯式当日に開催する予定である。実施後は、販売実績、来場者ニーズ、運営上の課題等を踏まえ、令和９年度以降の実施方法や開催場所、連携のあり方を整理する。

4 今後の展開

令和８年度の実績を踏まえ、市内の公共空間の更なる有効活用を検討するとともに、将来的には農業者、市民及び地域事業者等が連携する地域内循環の仕組みの構築を目指す。合わせて、地産地消の推進を通じて地域農業や地域農産物の魅力発信につなげる。